

# 設 立 趣 旨 書

## 1 設立趣旨

当地域は、『音楽の町飛騨古川』として小学校の音楽教育に始まり「飛騨古川国際音楽祭」など全国的にも認められた音楽活動を住民と行政が協力して展開してまいりました。その中で住民音楽サークルや演奏会誘致グループの活動が盛んに行われてきました。しかし、地域の文化事業や生涯学習の各種講座は、行政が企画し提供するものを享受することが大半でありました。そのような中、町村合併を経て飛騨市では「文化の薫るやすらぎと活力のあるまちづくり」を目標に、こうした活動の拠点となる公共施設を新規に整備し新市としての生活基盤整備を充実させながら、既存の施設もその利用活性に向け、指定管理者制度導入など運営現況の点検や運営方法の見直しがなされております。また国においては常々行政改革実践が叫ばれ、郵政民営化など官から民へという言葉もでてきているように社会構造の元から変革を進めています。

こうした状況下において、市民の心の豊かさを示すバロメータでもある文化事業、生涯学習活動もこれまで馴染んできた「行政からの提供享受型」という受身だけでは十分な状況は望めなくなってきたと言っても過言ではありません。また時代とともに市民ニーズが多様化する中、こうした市民生活に欠かせない様々なハード整備は進んでいますが、そうしたハードを活かすためのソフト運営が行財政改革の最中、行政だけでは十分なものを提供しきれなくなっているように見受けられ、市民の自主的なまちづくりも当面の課題となってきました。そこで市民の様々な目線でアイデアを出し活用していけるよう、各種事業実施展開に市民が主体性を持って乗りだしていく必要性が高まってきていると感じております。

このような中、当市に平成18年春に700席ホールを備えた飛騨市文化交流センターが竣工します。この施設は永年の市民待望の施設として大きな期待をかける施設であり、隣接する公共施設群とともに飛騨市民の文化活動の拠点として、新たに市民生活に潤いを与える夢のある場所として整備されます。この施設の事業企画運営も従来のように行政のみで行うのではなく、市民が主体的に様々な目線で企画し運営実施してこそ、施設の意義が高まり、より活気あるものになると考えます。そこで新設の文化交流センターを拠点として様々なソフト事業を、市民自らが企画し、創り、参加していく「市民主体型」で展開していくことが、市民の日常生活をより楽しく、より豊かにする大切な活動であると思いついたところでもあります。このように公共施設を活かして、心豊かな市民の暮らしを実現するためにも市行政と明確で透明な関係を得て、また市行政からの委託事業の受託なども見据え、多くの市民に責任を持った活動を展開しなければなりません。そのためにも法人格が必要であり、ここに市民主体の生涯学習・文化活動、まちづくり実践のための事業体として本法人の設立を目指すものであります。

## 2 申請に至るまでの経過

飛騨市文化交流センター開館に向け準備中の市行政に対し、平成17年6月発起人数名によりこの施設の運営に市民が参画できるよう要望する中、市としてこうした事例の先進地として愛知県武豊町や福井県福井市などの活動を一緒に視察したり情報を頂くなどしてきました。その中で、市民主体のホールソフト運営が理想的な形で運営されているのを目の当たりにしました。

そこでこの方向性を市側も了承し、ホール運営に関わりたい市民を平成17年9月に市側で募集し40名を越える応募を得ました。そこで応募された市民と平成17年10月20日に意見交換の会合を行い、新設ホールを主体に文化事業を企画実施するほか、将来的には市内の様々な施設を利用し、市民に夢のある生涯学習事業を展開しようという意見で一致し、その動きを強固に進めるべくまた多くの市民に参画してもらうためにもNPO法人として立ち上げて事業展開しようということになりました。

市行政側もホール運営に際し、NPO法人となるならば市のソフト運営予算の一部を委託できるよう調整したいということになり、賛同者により設立に向け事務的準備を進め平成17年12月9日に設立総会を開催しました。そこですべての議案を承認頂き、本申請に至ったところであります。

平成17年12月10日

特定非営利活動法人 **ひだ文化村**

設立代表者

住所又は居所 飛騨市古川町向町1丁目

氏 名 田ノ下 信義